

## 第30回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

### 議事要旨

日時：令和2年11月25日（水） 午後4時35分～午後5時45分

場所：庁議室

#### 1 開 会

#### 2 議 題

##### (1) 所沢市民の感染状況について

健康推進部長

- ・市内での感染者発生日（3月23日）から現在に至るまで状況を流行ごとの特徴で説明を行った。
- ・第一、第二波、第三波の期間は、患者数の山と谷を踏まえて便宜上整理している。なお、データの整理は発症日で行っているため、発表日ベースとは異なる。
  - ▶第一波（3月23日～6月下旬）
    - 4月に病院、福祉施設でクラスターが発生し、多くの感染者が出た
    - 感染者の特徴：高齢者が多い
    - 発症者数：149人（男性81人 女性68人）
  - ▶第二波（7月上旬～10月上旬）
    - 7月末に病院でクラスターが発生した
    - 感染者の特徴：若い世代での感染者が目立つ
    - 発症者数：215人（男性116人 女性99人）
  - ▶第三波（10月中旬以降～）
    - 保健所では全県的に無症状の大学生の活動により、感染が広がっていることを問題視している
    - 感染者の特徴：若い世代での感染者が目立つが、高齢者が第二波に比べ多く、幅広い世代で感染が広がっている
    - 発症者数：123人（男性66人 女性57人）
- ・改めて一人一人が感染防止対策を徹底していくことが重要である。

##### (2) 市長メッセージ

健康推進部長

- ・11月24日、埼玉県では緊急対策本部が開催され、医療体制を最大警戒レベルであるフェーズ4へ11月30日に移行することを決定した。
- ・PCR検査実施機関について、医療機関の許可が出たところに関しては、12月1日から埼玉県が公表する方針となった。
- ・県内の医療体制はひっ迫していることから、市長メッセージを作成することとなった。なお、感染症対策の強化と同様に、閉じこもることによる二次的な健康被害へ

の対策も重要も問題となっていることから注意喚起する。

総務部長

- ・ マウスシールドは防止効果が低いと記載しているが、フェイスシールドは該当しないのか。

健康推進部長

- ・ フェイスシールドはマスクとセットで防止効果がある。
- ・ マウスシールドは効果が低いが、テレビで芸能人が使用しているため防止効果があると勘違いされている。このため強調したい。

総務部長

- ・ フェイスシールド単体では防止効果が不十分であることから併記したらどうか。

環境クリーン部長

- ・ 使用する言葉や比較対象を、もう少し市民に分かりやすい表現にしたらどうか。

市長

- ・ 今は地消地産が大切。地消しないと地産がつぶれかねない。
- ・ 万全の対策を行い、制約せず活動してもよいことを伝えたい。市の施設もそういう考えで使ってもらいたい。
- ・ ウイズコロナとは、医療崩壊を招かないよう新型コロナウイルス感染症と上手く共存していくこと。そういう考えでメッセージを出す。
- ・ 職員も感染対策のポイントを押さえて行動すること。

決定事項

意見をもとに、健康推進部の案を一部修正し決定とする。

### (3) 令和2年12月1日～令和3年2月28日までのイベントの考え方

事務局（健康推進部次長）

- ・ 国や県は、現在の感染状況に鑑み、現行の制限を2月末まで維持する方針となった。
- ・ 所沢市も同様の考えに基づき、イベント等の考え方を公表するので協議願いたい。
- ・ 今回は、寒い時期であっても部屋の換気を行うこと、感染リスクが高まる『5つの場面』に留意することを明記した。

決定事項

健康推進部の案どおりとする。

### (4) 職員等が感染した場合の公表について

事務局（保健センター長）

- ・ 市職員が新型コロナウイルスに感染した際の公表について、これまでの経緯から改めて整理したので、協議願いたい。
- ・ 公表する市職員には、市民と接触する可能性のある会計年度任用職員、委託職員も含むこととした。

- ・原則、職員の陽性結果が判明後に緊急対策本部会議で公表内容を決定するが、案件によっては新型コロナウイルス感染症対策本部会議で対応するもの、緊急会議を開催しないことも可能とする。
- ・公表内容は、個人が特定されないようにすること等の配慮すべき事項を留意したうえで、必要な情報を公表していく。
- ・所属に感染疑いの職員が出た場合は、チェックリストを活用願いたい。

副市長

- ・チェックリストは実際に使ってみた意見を聞いて、使いやすいように随時更新すること。

学校教育部長

- ・委託職員等は窓口に限定されるものか。

健康推進部長

- ・窓口に限らず、市の施設において従事する者であれば公表していく。公表内容等については個別事案ごとに検討していくことになる。

こども未来部長

- ・国の分科会ワーキンググループでは、事業所や学校での感染者情報は、性別や年齢等の情報は公開しないほうがいいという意見がでている。

健康推進部長

- ・現時点では要望が出された状況であり、国でもまだ検討中である。国の方針が示されれば、それに準拠していく。

決定事項

意見をもとに、健康推進部の案を一部修正し決定とする。

## (5) その他

総務部長

- ・これまでも職員が体調不良、新型コロナウイルス感染症に感染した際の対応について各所属に通知してきたが、健康推進部とともに、新型コロナウイルス感染症職員対応フローとしてまとめたので報告する。
- ・これに呼応する予防対応方針も作成中であり、方針決定後、職員及び各所属に周知する。

環境クリーン部長

- ・国から示された「新型コロナウイルス感染拡大予防対策・チェック表」をボランティア団体（みどりのパートナー団体）が活動を行う際に活用してもらっている。全庁周知しているところなので、他所属も適宜参照・活用してもらいたい。

建設部長

- ・カルチャーパーク内のキャンプ場については、全20区画を10区画に制限するなどし、「密」を避ける対策を講じながら運用してきたが、11月末日をもってキャンプ場及びデイキャンプ場の今年度の営業が終了する。

- ・稼働率は、デイキャンプ場では通年で8割、7、8月のキャンプ場の宿泊利用は7割、キャンプ場の日帰りでの利用は3割だった。

健康推進部長

- ・本日25日の新規感染者は8人、累計497人となった。

次回会議予定

- ・未定